

MIRU2009 ワードテンプレート (タイトル) —電子情報通信学会技術研究報告形式修正版 (サブタイトル)—

電子 花子[†] 情報 太郎[‡] 通信 次郎[‡]

[†] 第一大学工学部 〒105-0123 東京都港区山田 1-2-3

[‡] 大阪株式会社開発部 〒565-0456 大阪府吹田市河田 4-5-6

E-mail: [†] hanako@denshi.ac.jp, [‡] {taro, jiro}@jouhou.co.jp

あらまし Microsoft Word による MIRU2009 (電子情報通信学会技術研究報告形式を修正したもの)のテンプレートファイルです。

キーワード Windows, Word, 信学技報, テンプレート

MIRU2009 Word Template (Title) —The Format of IEICE Technical Report (Subtitle)—

Hanako DENSHI[†] Taro JOUHO[‡] and Jiro TSUSHIN[‡]

[†] Faculty of Engineering, First University 1-2-3 Yamada, Minato-ku, Tokyo, 105-0123 Japan

[‡] R&D Division, Osaka Corporation 4-5-6 Kawada, Suita-shi, Osaka, 565-0456 Japan

E-mail: [†] hanako@denshi.ac.jp, [‡] {taro, jiro}@jouhou.co.jp

Abstract IEICE (The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers) provides a word template file for the Technical Report of IEICE. This is a modified version for MIRU2008.

Keyword Windows, Word, Technical Report, Template

1. はじめに

本ワードテンプレートは、電子情報通信学会技術研究報告のためのテンプレートをもとにして、MIRU2009 予稿集向けに修正を加えたものです。原稿の体裁は電子情報通信学会技術研究報告に準じます。詳細の執筆要領については、電子情報通信学会技術研究報告執筆要領 (電子情報通信学会 Web ページなど) をご参照ください。

2. 原稿の書き方

使用言語は、日本語または英語です。原稿の1ページ目上部には、一段組みでタイトル部を記述して下さい。タイトル部には、タイトル、発表者氏名、勤務先、Email、あらまし(和文 300 字程度、英文 100 語程度)、キーワード(6 個程度)を、それぞれ和文と英文で記述してください。なお、本文が英文の場合は、タイトル部も英文のみで構いません。

1 ページ目の全てをタイトル部にする必要はありません。本文は、タイトル部に続けてそのまま2 段組みでお書き下さい。

3. ページ数

最大ページ数は、投稿するカテゴリ等によって異なり

ます。詳細は、MIRU2009 Web ページを御覧下さい。

4. 著者に関する情報

査読はダブルブラインドで行います。査読付論文の投稿時には、論文中に著者を特定できる情報を入れないように注意して下さい。

- 1 ページ目の発表者氏名等は空欄にしておいてください。
- 謝辞は記載しないで下さい。
- 著者自身の既発表論文についても、「我々は」という引用をせず、第三者の立場で引用するようにして下さい。

文 献

- [1] (雑誌の場合) 著者名, “標題,” 雑誌名, 巻, 号, pp.を付けて始め-終りのページ, 月(英語)年.
- [2] (雑誌例 1) 山上一郎, 山下二郎, “パラメトリック増幅器,” 信学論(B), vol.J62-B, no.1, pp.20-27, Jan.1979.
- [3] (雑誌例 2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
- [4] (著書, 編書の場合) 著者名, 書名, 編者名, 発行所, 発行都市名, 発行年.
- [5] (著書, 編書例 1) 山田太郎, 移動通信, 木村次郎 (編), pp.21-41, (社) 電子情報通信学会, 東京, 1989.

- [6] (著書, 編書例 2) H. Tong, *Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach*, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.
- [7] (著書の一部を引用する場合) 著者名, “標題,” 書名, 編者名, 章番号または pp. を付けて始め-終りのページ, 発行所, 発行都市名, 発行年.
- [8] (著書の一部引用例 1) 山田太郎, “周波数の有効利用,” *移動通信*, 木村次郎 (編), pp.21-41, (社) 電子情報通信学会, 1989.
- [9] (著書の一部引用例 2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratliff, “Inhibitory interaction in the retina,” in *Handbook of Sensory Physiology*, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
- [10] (国際会議の場合) 著者名, “表題,” 会議名, no. を付けて論文番号, pp. を付けて始め-終りのページ, 都市名, 国名, 月 (英語) 年.
- [11] (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission,” *Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun.*, no. MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept. 1990.
- [12] (国内大会, 研究会論文集の場合) 著者名, “標題,” 学会論文集名, 分冊または号, no. を付けて論文番号, pp. を付けて始め-終りのページ, 月 (英語) 年.
- [13] (国内大会, 研究会論文集例) 川上三郎, 川口四郎, “紫外域半導体レーザー,” *1995 信学全大*, 分冊 2, no. SB2-1, pp.20-21, Sept. 1995.